

としょかん しょうがいしゃ さーびす あんない  
図書館の 障害者サービス ご案内

としょかん りよう しょうがい ひと  
《 図書館の 利用に 障害が ある人へ 》



しながわくりつとしょかん  
品川区立図書館

ねん がつ  
2022年 7月



## しょうがいしゃ サービス 障害者サービスとは？

- 活字の本を、そのままでは 読めなかったり、  
図書館へ 来ることが むずかしい人への サービスです。
- 品川区に 住んでいる人が、利用できます。
- お金は、いりません。
- 図書館を 利用するのに 困っていることの  
内容に応じて、使えるサービスを 用意しています。  
くわしくは、係の人に たずねてください。



## しょうがいしゃサービス「障害者サービス」の登録をする

りようカードをつくしょうがいしゃサービス  
「利用カード」を作るほかに、「障害者サービス」の

とうろくてつづひつよう  
登録手続きが必要

### ① まず、「利用カード」を作ります。

じぶん なまえ じゅうしょ たんじょうび  
自分の名前と住所、誕生日がわかるものを、

としょかん ひと み  
図書館の人に 見せてください。

かかり ひと りようカード つく  
係の人が 利用カードを 作ってくれます。

### ② 次に、「障害者サービス」の登録をします。

しょうがいしゃてちょう ようかいごと かいごほけんしょう  
障害者手帳や、要介護度がわかる 介護保険証が

かかり ひと み  
あれば、係の人に 見せます。

てちょう ひと としょかん りよう  
手帳などが ない人は、図書館を 利用するのに

こま はな  
困っていることを 話してください。



かつじ ほん よ  
活字の本を、そのままでは 読めない人が



りよう さーびす  
利用できる サービス

## 1 「障害者用資料」を 利用できます

しょうがいしゃようしりよう かつじ ほん  
○ 「障害者用資料」は、活字の本を、そのままでは

よ ひと つく しりよう  
読むことが できない人のために、作られた資料です。

りよう つぎ ひと  
○ 利用できる人は、次のような人です。

① 目が 見えない、または 目が 見えにくい

② 目は 見えるけれども、内容が 読みとれない

③ 体が 不自由で 本を 持てない

しながわとしよかん かい しょうがいしゃさーびすしつ  
○ 品川図書館 4階の 「障害者サービス室」で、

か だ よ しりよう そうだん  
貸し出しています。読みたい資料の 相談もできます。

でんわ 03 - 3471 - 4667 (代表)

ふあつくす  
FAX 03 - 3740 - 4014

○ ぜんぶで 20点まで 借りることができます。

○ 6週間 借りることができます。

○ 目が見えない、見えにくい人には、

専用の郵便で 貸し出しが

できます。料金は、かかりません。



○ 「目が見えない、見えにくい人」以外の人で、図書館へ

来ることが 難しい 障害のある 場合には、

資料を 家に 届ける 自宅配本サービスが 使えます。

(自宅配本サービスについては、9ページを 見てください。)

しょうがいしゃようしりょう つぎ  
■ 障害者用資料には、次のようなものがあります ■

でいじーとしょ  
デイジー図書

かつじ ほん よ ろくおん  
活字の本を 読んで 録音した

でじたるろくおんとしよ  
デジタル録音図書です。

せんよう さいせいき  
専用の 再生機や、

ぱそこん つか き  
パソコンを使って、聴きます。



まるちめでいあでいじーとしょ  
マルチメディアデイジー図書

おんせい いっしょ もじ がぞう  
音声と一緒に、文字や 画像が

ひょうじ でじたるとしよ  
表示される デジタル図書です。

さいせい ぱそこん つか  
再生には、パソコンを使います。



てーぶとしょ  
テープ図書

かつじ ほん よ ろくおん  
活字の本を 読んで 録音した

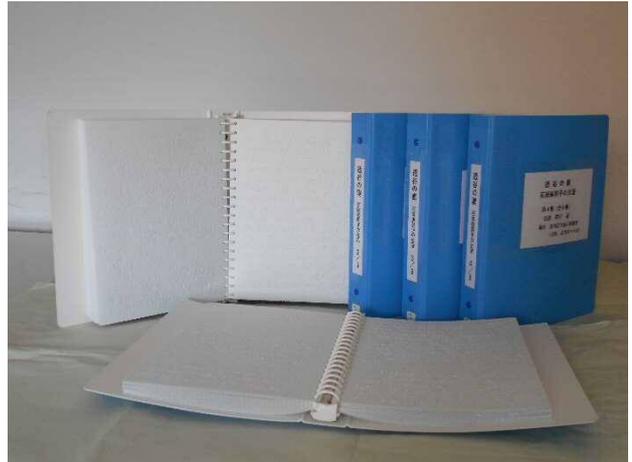
かせつとてーぶ ろくおんとしよ  
カセットテープの 録音図書です。



てんじとしよ  
点字図書

かつじ ほん てんじ やく  
活字の本を 点字に 訳した

としよ  
図書です。



えほん  
さわる絵本

りかい  
さわって 理解できるように、

え ぶぶん りったいか  
絵の 部分を 立体化し、

ほんぶん てんじ おお かつじ  
本文を、点字と 大きめの活字で

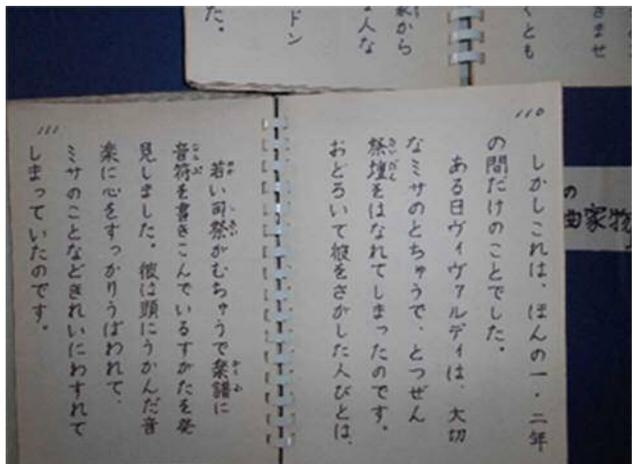
ひょうき えほん  
表記した 絵本です。



かくだいしゃほん  
拡大写本

かつじ おお か うつ  
活字を 大きく 書き写した

ほん  
本です。



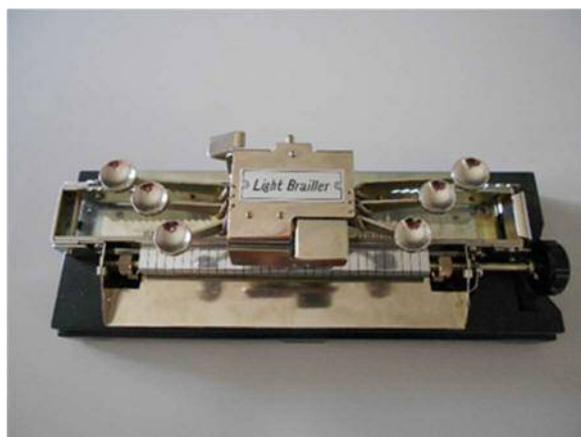
## 2 <sup>で い じ - と し ょ さ い せ い き</sup> デイジー図書再生機と <sup>て ん じ た い ぷ ら い た -</sup> 点字タイプライターを <sup>か</sup> 借りることが できます

○ <sup>で い じ - と し ょ さ い せ い き</sup> デイジー図書再生機は <sup>で い じ - と し ょ</sup> デイジー図書を <sup>き</sup> 聴くために  
<sup>ひ つ よ う ひ と</sup> 必要な人に、<sup>か だ</sup> 貸し出します。

○ <sup>て ん じ た い ぷ ら い た -</sup> 点字タイプライターは、<sup>し ょ う が い し ゃ よ う し り ょ う</sup> 障害者用資料などで

<sup>ど く し ょ</sup> 読書するときの <sup>ほ じ ゃ ゅ ぐ</sup> 補助具として <sup>か だ</sup> 貸し出します。

○ <sup>か だ</sup> 貸し出し <sup>き かん</sup> 期間は、<sup>し ゅ う かん</sup> 6週間です。



### 3 本を 読むのに、おてつだいが いる人への

#### 対面朗読サービス

○ かわりに 読んでもらう 「対面朗読サービス」を、

品川図書館で、おこなっています。

○ 音訳ボランティアに、読んでいただくため、

事前に 申し込みが 必要です。

品川図書館の 「障害者サービス室」に、でんわで、

申し込んでください。

→ 03 - 3471 - 4667 (代表)

○ 読んでもらう 場所は、「対面朗読室」です。

品川図書館 4階の 障害者サービス室の

なかに あります。



としょかん へ くる ことが むずかしい 人 への



じたくはいほん さーびす  
自宅配本サービス

としょかん ほん しーでい かせつと でいーびいでいー びでお  
○ 図書館から、本、CD、カセット、DVD、ビデオを、  
いえ とど さーびす  
家に届ける サービスです。

つき かい つき かい いえ とど  
○ 月に1回、または 月に2回 家に 届けます。

しゅうかん か  
○ 6週間 借りることが できます。

てん か  
○ 20点まで 借りることが できます。

でいーびいでいー びでお てん  
ただし、DVDと、ビデオは、4点までです。

とど ほうほう つぎ えら  
○ 届ける方法は、次のどちらかを 選んでください。

いえ ちか としょかん しょくいん とど  
① 家の 近くの 図書館の 職員が 届ける。

ぱっく ゆうびんきょく ひと とど  
② ゆうパックで 郵便局の人が 届ける。

ぱっく しながわとしょかん はっそう  
ゆうパックは、品川図書館から 発送します。

りょうきん  
料金は、かかりません。



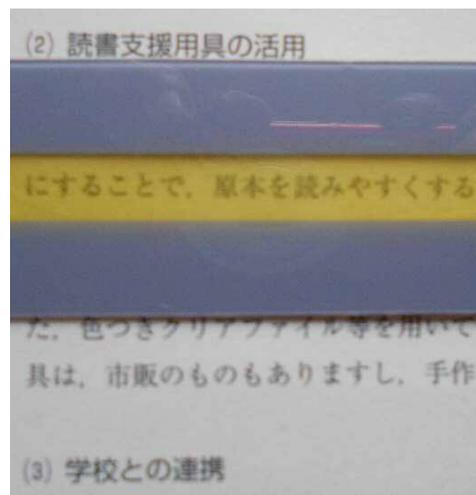
としょかん 図書館にある 読書を サポートする 道具

リーディングトラッカー

読みたい行に スリットをあてて 両どりの行をかくして

読めるようにする 読書補助具です。 区内ぜんぶの 図書館の

カウンターに あります。



拡大読書器

画面で 拡大します。

品川図書館と 八潮図書館に

あります。



しながわく としょかん でんわばんごう  
品川区にある 図書館の 電話番号

しながわ 品川	しょうがいしゃさーびすじつ (障害者サービス室)	3471-4667
ふたば 二葉	3782-2036	おおい 大井 3777-7151
えばら 荏原	3784-2557	ごたんだ 五反田 3492-2131
みなみおおい 南大井	3761-6780	おおさき 大崎 3440-5600
げんじまえ 源氏前	3781-6273	おおさきぶんかん 大崎分館 3491-3430
ゆたか	3785-6677	やしお 八潮 3799-1414

○ れんらくできる じかん

げつ ようびから 土よう日まで ごぜん9時 ~ ごご8時  
にち ようびと 祝日 ごぜん9時 ~ ごご7時

○ おやすみの ひ

だいよん げつ ようび しながわ えばら ごたんだ  
第4 月よう日 (品川・荏原・五反田)

だいに もく ようび ふたば みなみおおい げんじまえ おおい おおさき おおさきぶんかん やしお  
第2 木よう日 (二葉・南大井・源氏前・ゆたか・大井・大崎・大崎分館・八潮)

※ このほか、ねんまつねんし とくべつせいりきかん  
のほかに、年末年始と、特別整理期間の おやすみが あります。



「りんごの棚」 シンボルマークについて

ぶん よ んがて ぶん よ もじ え み  
文を 読むのが 苦手。 文が 読みにくい。 文字や 絵が 見えにくい。  
そんな こどもたちの ための ほん あつ こーなー めじるし  
スウェーデンの 図書館が 最初に 使いはじめました。